

# さいたま市議会議員

## 阪本 かつみ 市議会レポート

【2016. 2月号】

編集・発行：民主改革さいたま市議団 阪本 かつみ

### 2月定例会開会中！

さいたま市議会2月定例会は2月3日から3月11日の39日間の日程で開催されています。今議会に市長より提出された議案は、平成27年度補正予算と平成28年度予算などの予算議案34件、スポーツ振興の財源に充てるため新たに基金を設置する条例議案などの条例議案22件、一般議案3件、道路議案2件、人事議案9件、合計70件です。

今議会で私は、会派を代表して代表質問に臨むほか、企業会計（病院、水道、下水道事業）の予算審査にあたらせていただきます。

少子高齢化の進展や将来の人口減少を見据え、ますます厳しさを増す税制状況の中、市民の視点に立ってしっかりと審査をしてまいります。



さいたま市議会議員

### 阪本かつみ

保健福祉常任委員会 委員  
企業会計予算決算特別委員会 副委員長  
政治倫理特別委員会 副委員長  
見沼たんぼ将来ビジョン特別委員会 委員

### 代表質問項目

1. 国土形成計画について
  - 1) 首都圏広域地方計画における本市の位置づけは
  - 2) 今後の取組みについて
2. 産業集積拠点整備に合わせたまちづくりについて
  - 1) 田島産業集積拠点整備の進捗状況及び今後の取組みについて
  - 2) 西浦和駅周辺のまちづくりについて
  - 3) ウエストパーク構想について
3. 文化芸術都市創造に向けて
  - 1) さいたまトリエンナーレのレガシーとは何か
  - 2) 市民・企業との協働について
  - 3) 今後の市民周知のあり方について
  - 4) 文化芸術事業の財源確保について
4. 環境未来都市創造に向けて
  - 1) 今後のエネルギー情勢についての市長の見解や取組みは
  - 2) 「E-KIZUNA Project」や「次世代自動車/スマートエネルギー特区」について、これまでの取組成果や課題について
  - 3) 市長の考える理想の「環境未来都市」と、取組みの方向性について
5. 公民連携（PPP）の推進について
  - 1) これまでの取組みについて
  - 2) 公民連携を活用した市政の展望について

### 阪本かつみ 事務所

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp

「阪本かつみオフィシャル Web サイト」 <http://sakamoto-katsumi.net>

## 代表質問に臨む！

### ○産業集積拠点整備に合わせた西浦和駅周辺のまちづくりについて

Q

建築制限等のある長期未着手の区画整理事業や、東西アクセス道路、更にはUR都市再生機構田島団地の建替えなどの課題を踏まえて、産業集積拠点整備との連携したまちづくりを今後どのように進めていくのか伺う。

A

これまで本市とUR都市再生機構で、区画整理地と田島団地の連携したまちづくりについて検討を重ねてまいりましたが、昨年1月より産業集積拠点の所管を加えて検討を進めているところです。こうした中、地元の皆様が中心となり新たなまちづくり団体が設立しております。今後のまちづくりの方向性については、それぞれの権利者との合意形成を図るとともに、地元のまちづくり団体とも連携をして、西浦和駅周辺地区全体を支援したまちづくりについて検討してまいります。



### ○(仮称)ウエストパーク構想について

Q

荒川河川敷を利用した公園・緑地（荒川運動公園、ハンノキの里、秋ヶ瀬公園、さくら草公園、彩湖公園）を、運動面から自然環境保全まで担える「ウエストパーク」と位置付けて、一体的な整備を進めてはどうか。

A

荒川彩湖公園と桜草公園の往来をわかり易く明示した掲示板の設置や、各公園間を結ぶウォーキングコースの策定等、実施可能な施策から取組み、国・県及び隣接市と協議を重ねながら荒川緑地空間の一体化に向けて検討してまいります。

### ○さいたまトリエンナーレのレガシーとは何か？

Q

長期的な展望と共に、本年開催事業（9/23～12/11）において期待する足跡、まちの変化について伺う。

A

本市の将来を担う若者や子どもたちに、芸術に触れる機会を創出することによって、豊かな感性や創造性を育ててほしいと考えております。このような若者や子どもたちが将来、文化芸術活動を支え、本市の文化芸術都市創造を担い、また、各分野で活躍できる中核的な人材へと成長していくことが、さいたまトリエンナーレのレガシーと考えております。